



研究主題 「他者と協働して学びを深める児童の育成
～多様な考えを可視化・共有化する学習者用端末の活用～」

9月15日(木) 4年
社会科「自然災害にそなえるまちづくり」
テーマ:協働的な学び

ミライシードを活用して、より簡単に情報を収集したり共有したりすることで、友達の考えを自分の考えに取り入れられるようにしました！

ムーブノート

第3回研究授業は、4年生の社会科の授業です。日野市の自然災害への備えについて、日野市のホームページや地域の方のインタビュー動画を使って身近な地域の取り組みを調べ、課題を自分ごととして捉えました。自然災害に対して考えた自分たちにできることを ICTの活用を通して、可視化・共有化しました。今回はムーブノートを活用し、子供たちがより簡単に自分の考えを共有しました。



ムーブノートは、先生からの質問や課題をカードとして送ったり、リンクを貼り付けたりすることができます。子供たちは(1)自治会の仕事、(2)避難所の備え、(3)事前の備え、(4)地震が起きてからの行動の4つの項目に分かれてそれぞれしてされたリンクや動画へ飛び、調べ、情報をまとめていました。一斉にホームページや動画を見るのとは違い、自分のペースで繰り返し調べることができました。



調べた情報を班で共有しました。班の中で疑問が生まれると、「じゃあ調べてみよう！」とタブレットを使って自分たちで学習を進める姿が見られました。

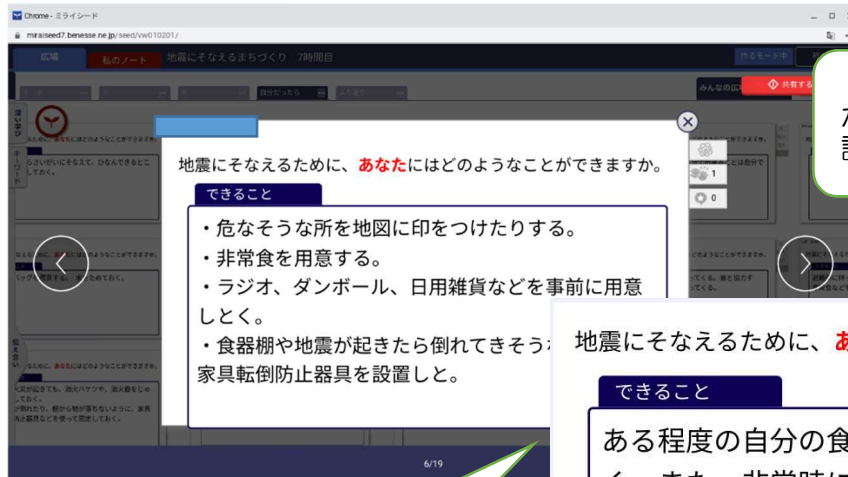
今回の学習で分かったことを、ムーブノートにまとめます。自分のカードを「みんなの広場」に送ると、友達の意見を見ることができます。共感ができたり、新しい考えだと思ったら、「拍手」や「コメントも」送ることができます。



【単元を通して活用している機能】

ムーブノート

○課題の提示



考えるべきこと（質問・課題）が表示され、それに対する答えや調べたことを書くことができる。

課題に対して、テキスト・絵（手書き）・写真などを使うことができる。

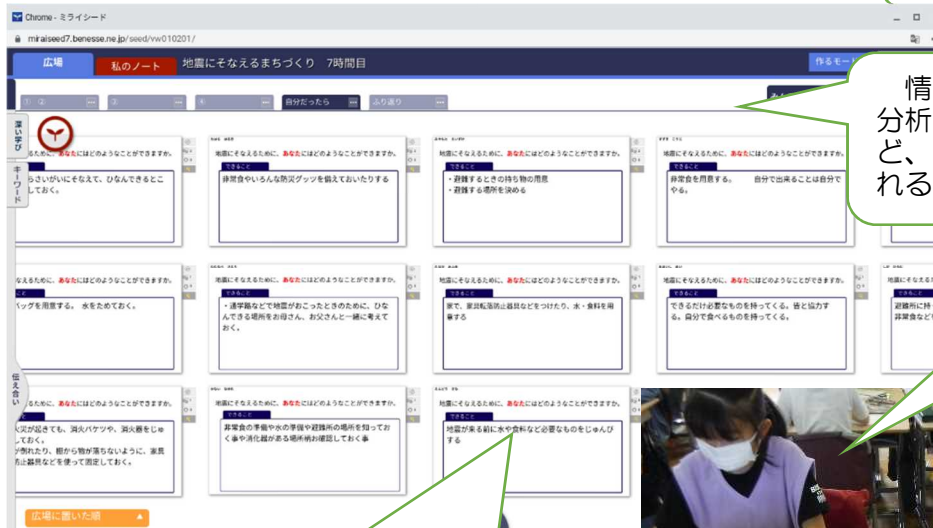
地震にそなえるために、あなたにはどのようなことができますか。

できること

ある程度の自分の食べる食料は自分で用意しておく、また、非常時に使えないものは置いていく。できるだけ家に残っている生活用品は持っていく。（避難所など）避難所などに避難するときは団体で行動する。

友達から「いいね！」がもらえるとより自信をもって発言ができ、学習の意欲向上にもつながっている。

○すばやい情報の共有



情報を共有したら、テキスト分析やスタンプごとに集計など、簡単に種類ごとにまとめられる。

終わったから、友達のコメントを見てみよう。

「みんなのひろば」にカードを送ると、そこにみんなの意見が集まってくる。友達の見解をすぐに見て、自分の考えに取り入れられるので、学習を深めることができる。

